

平成16年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

1.技術開発・製品化部門

	件数	区分	自治体 学校	企業	民間団体等
申請者数	34	自薦	2	19	1
		他薦	1	9	2
受賞者数	7	自薦		5	
		他薦		2	

受賞者	功 績
ミサワ環境技術株式会社	化石燃料を主体とするシステムに対し大幅な省エネルギーとCO2排出抑制が見込まれる、地中熱を利用した建物の冷暖房 給湯、温水プール・温泉の加温や路面融雪などに熱供給するシステムを開発し、公共施設を中心に導入。
マツダ株式会社	自動車製造工程の中で最も多くのエネルギーを消費する自動車塗装ラインにおいて、従来の中塗工程を上塗工程に集約し、三層連続塗装後、一度に乾燥させる「3ウェットオン塗装技術」を世界に先駆け開発。塗装工場の15%のエネルギー削減を図ることに成功。
プリンス電機株式会社 及び岩瀬プリンス電機株式会社	一般照明用蛍光ランプに比べて省資源・省エネタイプの高周波点灯用T5蛍光ランプ『省ライン』と既存照明器具の再利用を可能にする省ラインリニューアルキットを開発。オフィス・ホテル・商業施設等様々な場面に対応できる器具を製品化。
キヤノン株式会社	製品企画・開発の段階から製品の一生を通しての環境負荷の低減を考え実施するLCAの観点から、事務用の複写機やレーザービームプリンタで消費する電力の大部分を占める待機時消費電力を低減するために2つのオンデマンド省エネルギー技術を継続的に開発し、製品化。

受賞者	功 績
<p>帝人ファイバー株式会社</p>	<p>使用済みポリエステル製品から、石油より製造したポリエステル原料 (DMT) 以上の高純度DMTを回収できる「新原料リサイクル技術」を開発。DM T製造過程や使用済み製品の処理の際に発生するエネルギー消費とCO2排出量の削減に寄与。</p>
<p>株式会社中島自動車電装</p>	<p>高性能なフロン回収機を開発・製品化により、強力な温室効果ガスであるフロン類の排出削減に貢献。(全国家電プラント90%のシェア)</p>
<p>立山アルミニウム工業株式会社</p>	<p>ビル建築において、風や温度差といった自然の未利用エネルギーを使用し、オフィスビルの総消費エネルギーを10～15%削減する自然換気システムの開発・並びに製造・工事販売を通じ建物のCO2排出量削減に努めている。</p>

平成16年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

2.対策技術導入・普及部門

	件数	区分	自治体 学校	企業	民間団体等
申請者数	32	自薦	1	11	2
		他薦	1.5	10	6.5
受賞者数	9	自薦	1	1	1
		他薦		4	2

受賞者	功 績
京都市バイオディーゼル燃料化事業技術検討会	廃食用油のリサイクル・自動車排ガスのクリーン化・二酸化炭素の削減・生きた環境教育・地域コミュニティの活性化などに効果を発揮している、京都市実施の先駆的な廃食用油バイオディーゼル燃料化事業に対して、暫定燃料規格(京都スタンダード)や高品質な燃料化の検討などの技術的支援を実施。
財団法人 雪だるま財団	雪を地域の資源とみなし、雪氷冷熱エネルギーの導入の推進や自然エネルギー利用の研究・普及活動(利雪、太陽光発電)を行政と民間が一体となって行うことで地域経済の活性化にも貢献。
株式会社ジオパワーシステム	大型施設だけでなく一般家庭でも導入可能な地中熱利用換気システムを開発し、普及させたことで地球温暖化防止活動に貢献。
池田貴昭	太陽光発電システムの設置場所の有効設置条件の算定方法システムの開発・設計・実施。太陽光システムの設置環境、形態設計に関する従来の制約を緩和することで太陽光発電の導入拡大に貢献。

受賞者	功 績
日産車体株式会社	産官学の連携による「光触媒の超親水性を利用したビル冷却システム」の効果検証導入・普及により、地球温暖化やヒートアイランドの防止に貢献。 (光触媒の超親水性により薄い水の膜を作り、その水の蒸発潜熱でビルを冷却するという世界初の冷房方式。)
スウェーデンハウス株式会社	環境負荷の小さなスウェーデンの木造住宅を日本の気候風土、基準に適合させ、次世代省エネ基準を上回る気密断熱性能の住宅を開発し、導入・普及を推進。
三菱地所株式会社	丸の内北口ビルディング」において、テナントオフィスビルとして安定的かつ効果的な環境技術をビル全体に計画的に導入、地球温暖化防止対策を含めた環境共生に街づくりの視点も加えて整備。地球温暖化防止に資する取組を推進。
沼田町役場	雪冷房により米を低温保管する施設建設をきっかけに雪を地域固有のエネルギーと捉え、様々な利雪技術を開発。老人ホーム、個人住宅、飼育牛舎にも雪冷房等を導入。視察等の受け入れ等、全国で利雪に取り組む団体への先導的役割を果たす。
有限会社佐用自動車整備工場	電気自動車用充電スタンド(エコステーション)を本格稼働させるとともに、「でんき自動車・走行」事業に参画して、地域に根ざした電気自動車の先導的導入を行い地球温暖化防止に向けた対策技術の導入、普及啓発活動を実施。

平成16年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

3.対策活動実践部門

	件数	区分	自治体	学校	企業	民間団体等
申請者数	57	自薦	4		17.5	10.5
		他薦	4		8	13
受賞者数	14	自薦	1		3.5	5.5
		他薦	1			3

受賞者	功 績
打ち水大作戦本部	現代の都市が直面するヒートアイランド現象に対して、江戸時代には庶民に広く浸透していたといわれる「打ち水」の有効性を検証しようとする市民参加型社会実験イベントを実施。ネットワークやメディアを駆使してキャンペーンを盛り上げ多くの市民が参加。
篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会	紙芝居、大型絵本並びに寸劇等の実演などを組み合わせた地球温暖化防止活動の推進及び普及啓発活動の実施。幼稚園、小学校などの教育機関のほか、大人向けプログラムも実施。地域での普及啓発活動や他団体との協働について着実な実績を積み重ねる。
立川町環境まちづくり推進ネットワーク	省エネルギー実践の積み重ねは、発電所の建設と同じ効果であるという発想で、町民参加型の省エネ運動として各自が省エネ目標値を設定登録し、6ヶ月間の省エネ活動を実施する「町民節電所」に取り組む。また、省エネの目標達成度に応じて地域通貨を付与するなど、参加者の意欲高揚や地域活性化も図っている。
鳥取県立米子南高等学校	全校生徒、教職員で環境に配慮した活動を実践。鳥取県版環境管理システムの認証も取得。校内樹木のCO2吸収量調査、小学生との廃油キャンドルやキャンドルナイトへの参加呼びかけを行うなど地域の環境保全活動にも貢献。

受賞者	功 績
気仙沼地区エネルギー懇談会	企業、自治体、ボランティアグループなどの環境活動がポイントとして市民に還元されるという「エコ・ポイント活動」を実践。全市民の約1割以上がエコ・ポイントを保有。地球環境問題や環境活動に対する市民の参加促進と意識高揚に大きく貢献。
旭化成ホームズ株式会社EcoゾウさんClubプロジェクト	EcoゾウさんClubを開発、実践。 (インターネットを介して家庭の光熱水量などを入力することによって、特に子供を中心として家族で楽しみながら、毎月のエネルギーの使用状況を記録することで、省エネルギーの知識を身につけ、CO2削減を実現し、環境意識を育てる)
株式会社ローソン 及び社団法人国土緑化推進機構	将来の世代に豊かな森林を残すため、店舗で募金活動(ローソン緑の募金)を実践。(社)国土緑化推進機構を通じ、1994年から全国各地のボランティアが実施している植樹活動の支援し、同時にローソンの加盟店、社員も植樹に参加。CO2吸収源対策に貢献。
東京電力株式会社	顧客や社員に向け、家庭で手軽にできる温暖化防止行動の紹介や環境家計簿の利用促進やNPO等と連携した取組の推進等を図る「暮らしのCO2ダイエット」活動を実施。
特定非営利活動法人カーシェアリングネットワーク	環境NGO(申請者)行政(市)企業(丸電等)の連携による環境に配慮された車両でグリーン電力(風力)を使用したカーシェアリング事業を実践。
「身近な食で地球を冷ませ！キャンペーン」(事務局)	地場で産出された食材を地場において消費する「地産地消」の取組によるCO2の削減を呼びかけるキャンペーンを、地球温暖化防止を目標とした「100万人のキャンドルナイト」キャンペーンの特別企画として実施。

受賞者	功 績
東京ガス株式会社	エコ・クッキングの実践・普及 身近な「食」を通してエコロジーを考える、エコ・クッキング（環境のことを考えて「買い物」「料理」「片付け」）を提案。多くの参加者によるエコ・クッキング講座を継続して実施するなど、普及を推進。
特定非営利活動法人 環境カウンセラー会 ひょうご	県民環境セミナーでの地球温暖化防止に関する講義をはじめ、単独事業として地球温暖化防止活動を推進。市民や事業者に対し、省エネルギー・省資源の取組の大切であるとして細やかな提案をおこない、実践的な普及啓発を継続。
東京都板橋区立板橋 第七小学校	6年生、教職員、保護者、協力企業社員が連携してバルコニーから屋上までを蔓性の植物で覆い、葉の蒸散作用によって温度の下がった風を教室に招き入れるとともに校舎に当たる日射を防いで、壁面の温度上昇を抑え、教室環境を改善する活動の実践。
兵庫県地球温暖化防 止活動推進員 中島達郎	豊岡市、和田山町、城崎町などで講演会、街頭啓発運動や、ラジオ出演、小中学校で紙芝居やパネルを使った環境教育、イベント会場での環境パネル展示などを行い、積極的に各地域を飛び回り、広範囲で普及啓発活動を実践。

平成16年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

4.環境教育部門

	件数	区分	自治体 学校	企業	民間団体等
申請者数	33	自薦	7	4	11
		他薦	7		4
受賞者数	8	自薦	3		1
		他薦	3		1

受賞者	功 績
東京都練馬区立高松小学校	「こどもエコクラブ」児童からの提案を活かし屋上緑化(「草屋根づくり」)を実現、さらには「緑のカーテンづくり」を実現。大学やNPOの協力を得てその効果を調査して発信。エネルギー教育を推進し、学校を環境教育の拠点にすべく家庭や地域への発信にも努めるなど地域における取組促進にも貢献。
浅羽中学校組合立浅羽中学校	環境に対する理解と意識を高めるため、環境教育の研究・実践に取り組んだ。環境にかかわる学習内容を全教科、総合的な学習の時間の年間計画に位置づけるとともに、多岐にわたる環境問題を包括的にとらえる視点として、エネルギー概念の育成に重点を置き、全教員で授業実践に取り組んだ。教員、生徒ともに環境に対する意識変化が表れ、成果を上げている。
椎野学園 米沢中央高等学校	毎年夏休みに家庭からの二酸化炭素排出量を算定する調査を全校生徒の課題する環境教育を実践。調査結果は生徒による提言などとともに冊子として取りまとめ、温暖化防止に向けた積極的な生活の見直しを促進。学校以外の一般市民への呼びかけも開始。

受賞者	功 績
特定非営利活動法人 クリーン・エネルギー・ア リアンス	<p>毎年夏、ワールド・ソーラーカー・ラリー(WSR)と全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップ(JISC)、並びに人力と太陽光発電のハイブリッド、ソーラーバイシクルレース(WSBR)など日本国内だけでなく海外からの参加も受け入れながらレース競技を開催。また、春に、ワールドエコムーブ(WEM)手作り電気自動車省エネレースを開催し、昨年から燃料電池部門を新設し、競技参加者や観戦者などへの普及啓発の場の創出・実践に貢献。</p>
特定非営利活動法人 気象キャスターネット ワーク	<p>専門知識や訓練されたコミュニケーション能力を有するメンバーが全国の小学校・中学校や子どもたちを中心とする団体などを対象に、地球温暖化防止をテーマとした無償での環境教育を実施。手法についても最新の研究成果や地元の気象データを用いた講義と講義内容を体感してもらう実演・実験の2部構成とし楽しくわかりやすい授業になるように工夫。</p>
静岡県立磐田農業高 等学校	<p>菜の花エコプロジェクトなど 学生が菜種からBDF(バイオ燃料)の生成、その燃料を用いたトラクター走行実験を行うなど体験的にエネルギーへの理解を深めるとともに、学校を拠点とした廃食油からの石けんづくりなどの体験教育・普及活動を地域と連携して行うことで、次世代の環境リーダーの育成にも寄与。</p>
名古屋市立田光中学 校	<p>太陽光発電システム・雨水利用システム・雨水貯留施設などの省エネルギー導入を積極的に図るとともに、生徒が中心となったソーラー花時計の製作・設置。さらに、取り組みを発展させて、環境マネジメントシステムの理念を活かした「なごやスクールISO」の認定証取得などの実践的な環境教育を推進。</p>

受賞者	功 績
静岡県立静岡農業高等学校	地球温暖化防止に貢献する自然エネルギーに着目し、風力発電機(風力・太陽光ハイブリッド発電システム「ECO-10Z」)を導入すると共に、生徒自身の手で「手作り風力発電機」を研究製作するなど風力発電を通じた環境教育を実施。

平成 16年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

5.国際貢献部門

	件数	区分	自治体 学校	企業	民間団体等
申請者数	6	自薦		1	2
		他薦		1	2
受賞者数	0	自薦			
		他薦			